

第27回環境工学連合講演会

The 27th National Congress for Environmental Studies

震災からの

復興—環境工学の役割

平成26年5月12日(月) 9:25 - 17:25

日本学術会議講堂

東京メトロ・千代田線『乃木坂駅』下車、青山霊園出口そば
東京都港区六本木7丁目 電話 (03)3403-1056

参加費 : 無料 (講演論文集を別途2,000円にて会場で有料頒布)

定員 : 200名 (申込先着順)

参加申込 : 4月28日(月)までに下記よりお申込みください。

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=758>

* 日本建築学会会員以外の方は[会員外]としてご登録ください

東日本大震災から3年が経ち、被災地では復興に向けて懸命に活動が行われている。環境工学の多方面の立場から、復興や都市再生、開発に関する技術の現状、課題、解決法、今後の動向など環境工学の果たせる役割について、各専門領域から提案を行う。

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会

共催：

化学工学会

環境科学会

環境資源工学会

空気調和・衛生工学会

高分子学会

資源・素材学会

地盤工学会

静電気学会

大気環境学会

土木学会

日本化学会

日本機械学会

日本建築学会

日本水道協会

日本セラミックス協会

日本鉄鋼協会

日本土壌肥料学会

日本分析化学会

日本水環境学会

廃棄物資源循環学会

問い合わせ先 (幹事学会)：一般社団法人 日本建築学会事務局 (担当：榎本)

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20

TEL：03-3456-2057 FAX：03-3456-2058

E-mail：enomoto@aij.or.jp

プログラム

午前の部

■ **開会 (9:25～9:30)** 開会挨拶:嘉門雅史(日本学術会議 土木工学・建築学委員会副委員長)

□ **環境評価の新たな試み (9:30～10:10)** 座長:角田欣一((公社)日本分析化学会/群馬大学)

A-01 信頼される分析値を得るために:食品・環境試料の放射能標準物質の開発 葉袋 佳孝((公社)日本分析化学会/武蔵大学)

A-02 大地震時の地表面電界強度変化に関する一考察 水野 彰(静電気学会/豊橋技術科学大学)

□ **復興マネジメント (10:10～11:10)** 座長:大塚雅之((公社)空気調和・衛生工学会/関東学院大学)

A-03 巨大災害からの復興と災害環境マネジメント 平山 修久((公社)日本水道協会/国立環境研究所)

A-04 災害時における建築設備のあり方と震災復興プロジェクトにおける実例 内海 康雄((公社)空気調和・衛生工学会/仙台高等専門学校)

A-05 東日本大震災の沿岸環境への影響と保全に向けた課題 西村 修((公社)日本水環境学会/東北大学)

□ **資源循環型社会に向けて (11:10～12:30)** 座長:原本英司((公社)土木学会/山梨大学)

A-06 資源循環プロセスの将来像 大和田秀二(環境資源工学会/早稲田大学)

A-07 自然の力を活かす下水道の実現に向けて 佐藤 弘泰((公社)土木学会/東京大学)

A-08 地域バイオマス利用による被災地再生の戦略 稲葉 陸太((一社)廃棄物資源循環学会/(独)国立環境研究所)

A-09 震災復興における生活基盤である地盤の環境回復と新たな挑戦 今西 肇((公社)地盤工学会/東北工業大学)

午後の部

■ **特別講演 (13:30～14:00)** 座長:田辺新一((一社)日本建築学会/早稲田大学)

S-01 震災からの復興-環境工学の役割 吉野 博(日本学術会議 土木工学・建築学委員会幹事)

□ **復興とエネルギーシステム (14:00～15:00)** 座長:鍵 直樹((一社)日本建築学会/東京工業大学)

P-01 震災の教訓をふまえたこれからの都市エネルギーシステム 佐土原 聡((一社)日本建築学会/横浜国立大学)

P-02 ふくしま復興のためにケミカルエンジニアができること 佐藤 理夫((公社)化学工学会/福島大学)

P-03 震災復興への機械工学の貢献 長岡 裕((一社)日本機械学会/東京都市大学)

□ **放射性物質の環境改善 (15:00～16:00)** 座長:錦澤滋雄((公社)環境科学会/東京工業大学)

P-04 放射性物質の除染対策における関係主体の関与の現状と課題 村山 武彦((公社)環境科学会/東京工業大学)

P-05 紅藻類を用いた放射線物質濃縮 山本 高郁((一社)日本鉄鋼協会/大阪大学)

P-06 福島第一原子力発電所事故に伴う農地における放射性物質汚染対策 信濃 卓郎((一社)日本土壌肥料学会/(独)農研機構)

□ **環境改善技術の最先端 (16:00～17:20)** 座長:阿部 英喜((公社)高分子学会/(独)理化学研究所)

P-07 水環境の保全・浄化に求められる分離機能材料 一ノ瀬 泉((公社)高分子学会/(独)物質・材料研究機構)

P-08 津波堆積物の地球化学-震災復興実装研究から災害科学研究への展開- 土屋 範芳((一社)資源・素材学会/東北大学)

P-09 震災廃棄物のセメントによる再資源化 坂井 悦郎((公社)日本セラミックス協会/東京工業大学)

坂本 知也(同/太平洋セメント(株))

P-10 排気ガス中揮発性有機塩素化合物(VOCC)の除去処理技術の実用化 田中 茂((公社)大気環境学会/慶應義塾大学)

■ **閉会 (17:20～17:25)** 閉会挨拶:田辺 新一 (第27回環境工学連合講演会運営委員長/(一社)日本建築学会)

参加費 : 無料(講演論文集を別途2,000円にて会場で有料頒布)

定員 : 200名(申込先着順)

参加申込:4月28日(月)までに下記よりお申込みください。

<https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=758>

* 日本建築学会会員以外の方は[会員外]としてご登録ください

問い合わせ先(幹事学会):一般社団法人 日本建築学会事務局(担当:榎本) enomoto@aij.or.jp

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL:03-3456-2057 FAX:03-3456-2058